

研究のために、あなたの カルテの情報を使用させて頂いております

◎対象となる患者さん：慢性閉塞性肺疾患(COPD)、気管支拡張症、
喘息の治療のために通院されている方

1. 研究の題名 『 血清 IgG と慢性呼吸器疾患の増悪リスクの関連 』

＜研究期間＞ 令和 7(2025)年 3月 10 日 ~ 令和 10(2028)年 3月 31 日

2. 利用目的 及び 利用方法

＜利用目的＞ 慢性呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患:COPD、気管支喘息、気管支拡張症)では、急性増悪が予後や日常生活動作(ADL)に影響を及ぼすことが知られています。急性増悪のリスク要因として、これまでの研究では喫煙や感染症、気道の炎症などが関与していると考えられています。近年、海外では血清 IgG と慢性呼吸器疾患の悪化リスクとの関連を示唆する研究が報告されています。血清 IgG(免疫グロブリン G)とは、体内で細菌やウイルスなどの異物を排除する役割を持つ抗体の一種で、免疫機能の指標として広く利用されており、慢性呼吸器疾患においてその重要性が指摘されています。

しかし、日本国内では血清 IgG の測定が診療の場で一般的に行われておらず、その基準値や病状との関連についての研究も限られています。本研究では、慢性呼吸器疾患の患者さんを対象に、血液中の免疫物質である血清 IgG と病気の悪化リスクの関連を調べ、適切な IgG のカットオフ値を設定することで、将来の合併症や好ましくない転帰のリスクを早期に発見し、適切な介入方法を検討することを目的としています。

＜利用方法＞ 利用 ・ 提供

3. 以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

＜対象期間＞ 令和 7(2025)年 3月 10 日 ~ 令和 9(2027)年 3月 31 日

4. 本研究で利用する試料・情報について

本研究に関して 診療記録 から 以下の情報を取得します。

病名、年齢、身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、併存疾患、治療歴、呼吸器症状の評価スコア、検査データ(血液検査、呼吸機能検査、胸部レントゲン、胸部 CT 検査、喀痰検査)

5. 利用する者の範囲

取得した情報、試料は、飯塚病院の下記研究代表者 及び 研究分担者において使用します。

村上陽亮

6. 試料、情報の管理の責任者について

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様に責任を持ちます。

＜診療科名または部署名＞ 呼吸器内科

＜研究代表者名＞ 村上陽亮



株式会社 麻 生

7. 試料・情報の利用 及び 他の研究機関への提供の停止を希望する患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報、試料が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記の連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、患者さんやご家族が不利益を被ることは一切ございませんので、どうぞご安心ください。また、この研究に関する計画書を、研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

<連絡先> 株式会社麻生 飯塚病院 0948-22-3800 (代表)

<担当者> 村上陽亮

<内 線> 0948-22-3800

< Mail > ymurakamih5@ain-net.com